

# 外郭団体ミッション遂行評価票

# 【平成26年度取組結果】

団体名	公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム	所管課	総務企画局 男女共同参画推進課
団体に対するミッション		行財政改革大綱における見直し内容	
<p>①日本及び他のアジア諸国の男女共同参画に関する調査研究、国際交流、情報収集・発信等を通じて、日本及び他のアジア諸国の女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、相互の発展に寄与する。</p> <p>②団体が有する国際的視点を備えた高い専門性や知識・情報、人的ネットワークなどを活用し、女性が活躍できる経済社会の実現など、本市における男女共同参画社会の形成の推進に寄与する。</p>		<p>研究部門については、国際的な視点からの男女共同参画に加えて、その時々々の行政課題等に的確に対応し、市の政策課題である「第3次男女共同参画基本計画」の重点取組みに直結した業務を行い、その成果を市民に見える形で還元していく。なお、成果が見られなければ、大学等との統合、又は、廃止を検討する。</p> <p>また、既存事業をゼロベースで精査・見直し、同計画の具体的施策を具現化するための事業に集中して取り組む。</p>	

ミッションに基づく中期計画							
3～5年後に 目指す状態	団体が有する国際的視点を備えた高い専門性や知識・情報、人的ネットワークなどを活用し、調査研究、国際交流、情報収集・発信・各種プログラムの開発、セミナーの開催等を行うことにより、本市における男女共同参画社会の形成を促進する。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H25 実績	H26 目標 実績		H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
国際的な見地を踏まえ男女共同参画の推進の必要性を認識する市民が増加する状態を目指す。（国際理解セミナー等開催数）	3回	前年度と同程度	5回 （セミナー等開催数）	前年度と同程度			
男女共同参画の推進の理解につながったと考える市民が増加する状態を目指す。（第3次基本計画に沿った研究件数）	2件	1件以上	3件	1件以上	1件以上	1件以上	1件以上
男女共同参画社会という言葉の認知度（ムーブ・レディスの利用者数）	457,045人	前年度と同程度	482,758人	前年度と同程度			

ミッションの遂行状況の評価（平成26年度）			
団体における 評価	<p>国連のジェンダー関連会議を誘致し、アジア女性会議や各種セミナー開催、北九州市と仁川広域市との女性団体交流、スタディツアーの実施などの事業を行い、日本及びアジア地域の女性の地位向上及び男女共同参画社会の実現を図った。</p> <p>団体が有する高い専門性やネットワークを活用した「働き女性の夢をかなえるキャリアアップ講座」などの就業支援講座や男性の家事・育児・介護の促進支援等の講座を実施するとともに、北九州市における女性活躍推進の実態調査をはじめ、男女共同参画についての情報収集・発信を行った。また、ムーブ、レディスの利用者数も増加するなど男女共同参画社会の推進に寄与した。</p>	市の評価	<p>平成26年度では、これまでの取組みのほか、国連ジェンダー統計専門家会合の誘致、本市の女性活躍の実態調査、市内の大学に対する新たなプログラムの実施などを行っている。</p> <p>また、団体の持つ専門性やネットワークを活用し、第3次男女共同参画基本計画に直結した業務や調査研究への取組みを進めており、本市の男女共同参画社会の推進に寄与している。</p>
	今後の課題及び見直し内容		<p>女性活躍の推進や男性の意識改革、次世代の育成及び女性に対する暴力等人権侵害行為の根絶などが課題であるため、団体が有する高い専門性やネットワークを活用し、アジアの女性との連帯・交流を深める事業、働く女性や企業、男性や若年層を対象とする事業、女性に対する暴力等人権侵害行為の根絶などのための事業を実施する。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	<p>統合を検討する団体 特に具体的な成果が求められ、成果が見られなければ統廃合を検討する団体</p> <p>研究部門について、平成26年度は「第3次男女共同参画基本計画」の重点取組みに直結した調査・研究を行うとともに、研究報告会の開催、「アジア女性研究」やインターネットに掲載するなど、成果を公表した。また、女性のキャリア形成のために開発したプログラムにおける講座を市内5大学で実施した。</p> <p>既存事業を見直ししていくために、「ムーブ・レディス事業企画委員会」を開催し、契約方法の見直しをはじめ、3館合同の事業実施など効率化を図った。</p>